

# 美しい森林、豊かな水を 次代に伝えたい ～森林湖沼環境税特集～



水郷県民の森

本県では、森林や湖沼などの豊かな自然を守るために、平成20年度から「森林湖沼環境税」を導入し、さまざまな取り組みを行っています。  
今回は、4人のいばらき女性特派員がリポートします。

## 「ご存知ですか？」 森林湖沼環境税

森林湖沼環境税とは、県内の森林や湖沼・河川など、豊かな自然環境を守るために使われている税金です。平成20年度から導入されていることをご存じですか。

そこで今回は、私たちの税金である森林湖沼環境税が、茨城の森林や湖沼を保全するためにどのように使われているのか、実際に活用されている現場取材してきました。

### 税の必要性は

健全な森林は、土砂災害を防いだり二酸化炭素を吸収したりして、私たちの生活を守ってくれます。また、湖沼や河川の水は、飲み水ばかりでなく、農業や工業などを支える重要な

### 森林湖沼環境税の仕組み

| 納める人  | 茨城県内に住所等がある個人                                | 茨城県内に事務所等がある法人 |
|-------|----------------------------------------------|----------------|
| 納める額  | 1,000円／年                                     | 県民税均等割額の10％／年  |
| 納める方法 | 県民税と併せて納付                                    |                |
| 納める期間 | 平成20年度から平成24年度までの5年間                         |                |
| 使いみち  | 森林の保全・整備……………年間約8億円<br>湖沼・河川の水質保全……………年間約8億円 |                |

※県民税均等割を納める人と同じです。次の方は、県民税均等割が課税されないため、森林湖沼環境税も課税されません。①生活保護法による生活扶助を受けている方 ②前年中の合計所得金額が市町村条例で定める金額以下の方 ③前年中の合計所得金額が125万円以下の障害者、未成年者、寡婦・寡夫の方



今回、取材を行ったいばらき女性特派員

なものです。

しかし、近年、手入れされない荒れた森林が増え、また、重要な水源である霞ヶ浦なども、都市化の進展に伴い汚濁がひどくなっています。

こうした状況では、自然はその力を十分発揮することができません。

そこで、自然の公益的機能を回復しようと創設されたのが森林湖沼環境税なのです。

### 税の仕組み

県内の個人・法人が納税義務者で、個人の場合、県民税と併せて1000円（年額）を納付します。

1年間の森林湖沼環境税収入はおよそ16億円で、約半分以上が森林の保全・整備、約半分以上が湖沼・河川の水質保全のために使われています。

それでは森林や湖沼の現状を見てみましょう。  
(文・佐藤有紀)

## 森林の現状と 緑の循環

森林には人の手が入らない方が自然のままで、環境に良いと思いますよね。でも、森林を元気に保つには、混み合っている木を切る間伐や下草刈りなど、人の手による手入れが必要

です。しかし、林業従事者の減少などによって手入れが遅れ、荒廃した森林が増えているのが実状です。

このような状況が続くと、私たちの暮らしを守る森林の機能が十分に発揮されなくなります。

### 緑の循環

森林の機能を維持していくには、木を植え、育て、伐採し、木材を利用するという「緑の循環」が必要です。この仕組みが円滑になれば林業も再生し、森林を守ることにつながるのです。

そのため県では、森林湖沼環境税を活用して、間伐など森林の整備を進めるとともに、木材の利用を推進する木づかい運動を展開していきます。

では、私たちには何ができるのか



間伐の様子

でしょう。

○ボランティアが活躍「水郷県民の森」  
今回私たちは、本県の代表的な平地林が自然に近い形で残されている水郷県民の森（潮来市）を訪れました。

主に県南西部の平野部に広がる平地林は、かつて私たちの生活と深く関わっていました。ところが、こうした身近な森林も、都市化の進展によって減少と荒廃が進んでいます。

しかし、訪れた水郷県民の森は、ヤマユリが数多く咲き、木々の間を昆虫が飛び交い、野鳥の声が聞こえてくる豊かな森でした。

この平地林、実はボランティアの方々により、間伐や下草刈りなどの手入れが行われています。

水郷県民の森以外にも、森づくり活動を行うボランティアの皆さんが、県内各地で活躍中だそうです。

より多くの人がこうした活動に参加することで、森林が守られ、人も森林もより豊かになっていくのだと思います。  
(文・佐藤ひとみ)



手入れされた平地林

## 泳げる霞ヶ浦を 目指して

豊かな水産資源と美しい自然に恵まれ、日本で2番目に大きな湖である霞ヶ浦。しかし、高度経済成長に伴う生活排水、事業・農業系排水の増加などにより、水質が悪化してき

ました。水質が改善しない大きな要因に、浄化槽や下水道などで生活排水を処理していない世帯が、約3割残っていることがあげられます。

このため、県では、森林湖沼環境税を活用し、排水に含まれる窒素やリンを除去できる高度処理型浄化槽の設置補助や、下水道などの接続率向上に取り組み、以前のような美しい霞ヶ浦を取り戻せるよう働きかけています。



霞ヶ浦でボートをこぐ学生たち

### 霞ヶ浦湖上体験スクールを通して

また事業の一つに、年間約7000人の小中学生が体験する「霞ヶ浦湖上体験スクール」があります。

今回は、そこでボランティアをしている筑波大学大学院2年生の白井さんにお話を伺いました。



湖上体験スクールに参加した子どもたちと

### Q活動を始めたきっかけは？

大学でボート部に入り、霞ヶ浦で練習をしているうちに親しみがわき、その素晴らしさを子どもたちに伝えたいと思い参加しました。

### Q霞ヶ浦の印象は？

ヨットやウインドサーフィンなど湖上スポーツが盛んであることと、一見すると海のような大きさであることです。

### Q霞ヶ浦への思いは？

この事業を通じて、多くの子供たちに霞ヶ浦に触れて、体験してもらい、自然との共生や豊かな水の大切さを感じて欲しいと思います。

(文・小川由佳)



それでは、森林湖沼環境税を活用した事業の成果を見ていきましょう。  
(数値はH22年度の成果)

## 森林の保全・整備の成果

### 1 森林環境保全のための適正な森林整備の推進

● 森林の公益的機能を回復させるための間伐の推進

● 間伐面積・・・1296ha  
● 作業道開設延長・・・42325m



間伐された森林

● 身近な平地林の保全・整備  
● 平地林など整備面積・・・195ha

間伐と平地林などの整備により、年間約2500炭素トンの炭素吸収効果がありました。

● 作業効率を向上させるための高性能林業機械の利用支援

● 高性能林業機械レンタル補助  
・・・51カ月分



高性能林業機械による作業

● 県産材の流通加工体制の整備  
● 原木市場、木材乾燥施設などの整備



整備された原木市場

### 2 いばらき木づかい運動の推進

● 新築木造住宅の建築促進  
● 新築木造住宅建築に対する補助  
・・・150戸



県産材を使用した住宅

### ● 面源負荷削減に取り組む団体への補助

● 補助団体・・・2団体

### 3 県民参加による水質保全活動の推進

● 市民団体の活動に対する支援  
● 市民団体への活動機材無料貸出し  
・・・337件

● 市民団体への補助・・・21団体



市民団体による環境学習

### ● 湖上体験学習の推進

● 湖上体験スクール参加者  
・・・7431人

### ● ヨシ帯の保全活動を行う団体への補助

● 補助団体・・・1地域協議会  
5活動組織

これらの事業により、CODで年間約70トンの汚濁負荷削減効果がありました。

### ● 木づかい環境の整備推進

● 公共施設の木造化・木質化補助  
・・・8施設

● 学校・保育所などへの木製品導入補助  
・・・32施設

● 公共施設の木質化  
(県立こころの医療センター)



保育園に導入された机・椅子

### 3 県民協働による森林づくりの推進

● 県民の森林づくり活動支援と森林・林業に関する普及啓発

● 森林づくりなどの活動補助  
・・・20団体

### ● 森林環境教育の推進

● 子どもの森の整備補助・・・12カ所  
● 親子の森林・林業体験学習  
・・・382人



間伐の体験学習

## 今回の取材を振り返って

県内のさまざまな地域に住む女性特派員の私たち。今回は4人そろっての取材でした。

### ● 身近な緑に目を向けてみませんか

まず、平地林を散策して驚いたこと。緑の木々の間に明るい日差しが差し込んだ森林は、想像以上にさわやかで、すがすがしい印象を与えてくれました。森林湖沼環境税の導入により、私たちの周りでも、平地林の手入れが進んでいます。生活に安らぎと癒しをおいも与えてくれる身近な緑が、もともともっときれいになることを期待したいです。

● 水の美しさに感動できる風景を  
霞ヶ浦湖上体験スクールで、水深



## 湖沼・河川の水質保全の成果

### 1 生活排水などの汚濁負荷量の削減 窒素・りんを除去できる高度処理型浄化槽の設置促進

● 高度処理型浄化槽の設置補助  
・・・1244基



高度処理型浄化槽

### ● 下水道及び農業集落排水施設への接続促進

● 下水道への接続補助・・・639件  
● 農業集落排水施設への接続補助  
・・・168件

### ● 工場・事業場からの排水対策

● 立入検査・・・543事業所



工場・事業場への立入検査

1mまでの目視を体験した子供たちは、とても興味深そうでした。帰りの船では水しぶきを浴びるたびに笑い声があがっていました。  
この子たちに、美しい霞ヶ浦をしっかりと伝えていかなければなりません。

### ● 自然に生かされている私たちの使命

私たちの生活が豊かになるにつれ、森林や湖沼は、残念ながらかつての美しい姿を失いつつあります。このままでは、私たちが思い描く美しい故郷の風景は、過去のものとなってしまいかも知れません。

しかし、今回の取材を通して、森林湖沼環境税の導入により様々な事業が展開され、荒れた森林や汚れた湖がよみがえりつつあることを知り、森の再生や水質の改善というかたちで、結果に表れ始めているのです。

こうした取り組みをさらに進め、美しい森林や豊かな水を次代に引き継いでいくことは、自然と共に生き、自然に生かされている私たちの使命だと感じました。(文・石崎五十鈴)

● 税の仕組みに関するお問い合わせ  
県税務課 0296(300)2418

● 森林に関するお問い合わせ  
県林政課 0296(300)4001

● 湖沼に関するお問い合わせ  
県環境対策課 0296(300)5000